

各位

会社名 初穂商事株式会社
 代表者名 代表取締役社長 斎藤 悟
 (JASDAQ・コード7425)

問合せ先

役職・氏名 執行役員経営管理室長 成田 哲人
 電 話 052-222-1066(代表)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年2月12日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。また、当社は、本日開催の取締役会において配当予想について下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2021年12月期通期連結業績予想数値の修正（2021年1月1日～2021年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	30,300	610	720	340	207.72
今回修正予想 (B)	30,000	760	936	482	294.81
増減額 (B-A)	△299	150	216	142	
増減率 (%)	△1.0	24.6	30.0	41.9	
(ご参考) 前期実績 (2020年12月期)	29,056	510	628	216	132.20

(注) 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株を2株の割合で株式分割を実施したため、2020年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、前期実績(2020年12月期)の1株当たり当期純利益を記載しております。

(修正の理由)

当連結会計年度は、過去に経験した事が無い水準で国際的な鋼材価格が継続的に高騰する一年となりました。この影響により鋼材製品の仕入価格が大幅に値上がりし、国内市場の流通量に対する不安から、販売商品の確保に労力を要する厳しい経営環境で推移いたしました。

しかしながら、内装建材事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大により上半期にかけて建築現場の進行に停滞が見られたものの、秋口からは遅れを取り戻すべく荷動きが活発化し、物流施設及び店舗関連の出店状況も回復基調が鮮明となりました。また、住環境関連事業では大型工事の受注や生産活動の再開により需要に持ち直しの動きが見られました。

エクステリア事業におきましては、新設住宅着工戸数の下げ止まりやリフォーム需要が増加し、営業面では販売店向けのキャンペーン実施により安定した業績で推移いたしました。

当社グループにおきましては、このような経営環境下での営業活動の結果、第4四半期における各セグメントの売上高の伸び率が当初予想を上回り、仕入価格相場に対応した価格改定の影響が想定より順調に進んだ事や配送体制の見直し等によるコストの低減が、増益に寄与しました。また、営業外収益に保険解約益を計上したことにより、前回発表予想利益を上回る見通しとなりました。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2021年2月12日発表)	—	—	—	65.00	65.00
今回修正予想	—	—	—	70.00	70.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (2020年12月期)	—	0.00	—	110.00	110.00

(注) 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株を2株の割合で株式分割を行っております。前期実績(2020年12月期)については、当該株式分割前の実際の配当金の額を表示しております。株式分割を考慮した場合の前期実績(2020年12月期)の年間配当金は、1株当たり55.00円となります。

(修正の理由)

当社は、株主に対する利益還元を、経営の最重要政策のひとつとして位置づけ、中長期的視点から経営基盤の確立及び事業展開に備えるための内部留保を勘案し、業績に応じた利益還元を安定的かつ継続的に行うことを基本方針としております。

2021年12月期期末配当予想につきましては、業績予想の修正及び配当方針を総合的に勘案した結果、1株当たり70円に修正いたしました。

(注) 本資料に記載されている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上